

『歩きが遅くなったので、山歩きを変える』を読んで

～会員 AKA 氏から寄せられたコメント～

『歩きが遅くなったので、歩きを変える』興味深く拝読しました。いい歳してもがいている様子の方々をご紹介いただき有難う御座いました。小生にもいちいち頷けるものがあり今後の参考にさせていただきます。改めて齢をとるとは残酷なものだなあと考えたものです。

“健常者とは同行出来ない、標準タイムの3割増しで山行計画を立てる”は、私もこのところの山行で思い知った事で先輩の言葉で改めてその意を新たにしましたところですよ。

“弱者+弱者は危険を倍加するだけで残るは単独行しかない”という結論にも頷けます。私もそう思います。

それにしてもこういう状況下で狙うのが仙丈、槍とはさすがですね。私の白馬岳と今月狙う燕、焼岳とはレベルが違います。ご本人は若き頃と比較してご不満をお持ちのようですが、傍から見るとやっぱり凄いです。

1977年の日本K2遠征隊総指揮吉沢一郎氏は先輩榎有恒氏の前では気軽に「私も歳のせいで……」と足弱を嘆くとナーニ言ってるかと倍になってやり返されるのでうっかり妙な事は言えないと神妙ですが、辿ってきたレベルの違いはあれども、先輩を前にすると小生もまさにその心境であります。

◆新たな山行を試行◆

私も80歳です。赤岳・仙丈・槍は私にもう無理、80歳で槍や雪の赤岳を狙うところが小生との大きな差だと思います。が、仙丈はもう一度行ってみたいので来年の課題にしようかな。赤岳・槍は無理だが北アでは燕岳とか爺ヶ岳位は行けそうかな。

◆残るは単独行しかない◆

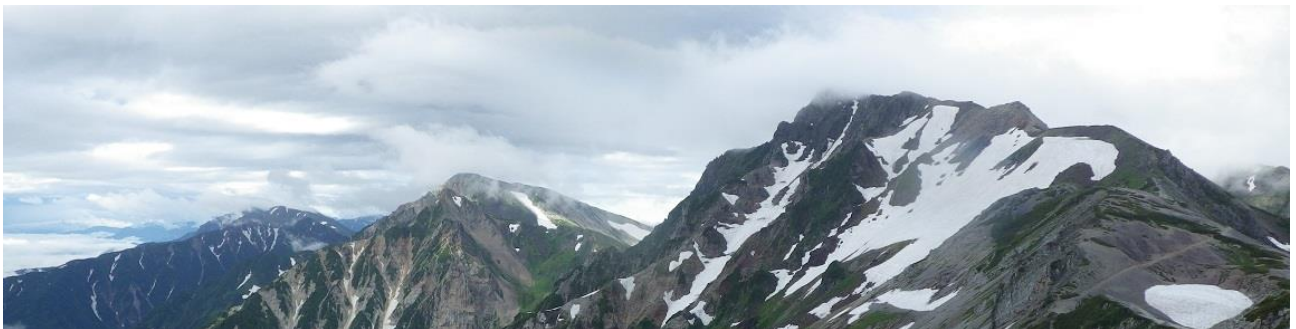
コロナのお陰で仲間との山行がガクッと減り、単独行と妻との山行が多くなりました。まだ車の運転が出来ますので助手席でナビをしてくれますので助かっています。

◆軽量化に努める◆

これはもう永遠の課題。相変わらずゴミを背負ってる感じですが、中身減らさず出来るだけ軽いザックを使う。又、露営が必要な山へは行かない。

◆標準タイムの3割増しで計画◆

私の場合は4～5割増しが妥当。今年の富士山は2回とも富士宮口から上り7時間。



(写真は、本文とは直接の関係はありません)

(AKA)